



絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

ICT機器を活用して新しい時代を生き抜く力を育成する ～6月の校長講話より～

これからの社会において、パソコンやスマホ、タブレットといった情報端末を有効に使いこなすことが極めて大切なこととなります。南越前町では昨年度から1人1台のタブレット端末及びWi-Fi環境が整備され、これを活用した授業等の教育活動が必須となりました。本校でも日常の学習活動へのより一層の活用を考えています。

◆コンピュータをつかってしゅくだいをする。

ほかのくに 22.2% にほん 3.0%

◆べんきょうのためにインターネットをつかう。

ほかのくに 23.0% にほん 6.0%

◆しりょうをみつけるためにインターネットをつかう。

ほかのくに 20.1% にほん 3.7%

▼ネットでチャットをする。

ほかのくに 67.3% にほん 87.4%

▼1人よりのゲームであそぶ。

ほかのくに 26.7% にほん 47.7%

▼ほかの人とオンラインゲームであそぶ。

ほかのくに 28.9% にほん 29.6%

6月の校長講話では、ICT機器の利便性と問題点について話しました。左のスライドはOECD（経済開発協力機構）が小学生を対象に実施した調査の結果です。平日のICT機器、インターネットの活用に関する実態が分かります。

最後のスライドにあるように、OECD加盟の国々は日本と比べて、学習にインターネットを活用している子が多いのに対し、日本は他のOECD加盟国と比べて遊びや趣味でインターネットを使っている子が多いことが分かります。そして、このことは児童がインターネットを使わせる際に足かせになってきました。

しかし、これからは情報端末やアプリを道具として鉛筆やノート、教科書代わりに使って、より効果的な学習活動を行うことが求められています。ICT機器を活用する力は新しい時代を生き抜くために必須の力だと考えます。インターネットを正しく活用する指導を徹底し、学校、家庭で積極的に活用していきます。本校の特色の1つである少人数指導とICT機器の活用を融合させ、個別最適化された学習活動を目指したいと考えています。

ちようさのけっかからわかること

●ほかのくににはほんにとくらべて、
がくしゅうに
インターネットをつかっている子どもがおおい。

●にほんはほかのくににとくらべて、
ゲームやチャットなど
あそびやしゆみで
インターネットをつかっている子どもがおおい。



校長講話で使ったスライドの一部

修学旅行に行ってきました！

5月26日(木)～27日(金)に6年生が修学旅行に行きました。天候に恵まれ、予定通りの活動を行うことができました。児童たちは終始笑顔でした。よい体験ができたと思います。お見送り、お迎えにお出でいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



レインボーラインにて